

NEWS Letter



Contents

三遠南信地域連携研究センター.....	2
私立大学研究ブランディング事業	3
2019年度 越境地域政策研究フォーラム	5
2019年度 シンポジウム・研究会	6
刊行物	8
アクセス.....	8



三遠南信地域連携研究センター



越境地域政策の科学的な確立に向けて

地域政策は、国・県・市町村などの行政区画を単位として立案・実行されます。このため歴史や文化の一体性、或いは広域的な政策需要が存在しても、行政境界を跨ぐ県境地域や国境地域など越境地域での政策立案や実施は容易ではありません。しかし日本国内でも市町村の約4割が県境に接しているなど越境地域政策の必要性は高く、むしろ行政境界を結び目とすることによって、閉塞感を持っている従来の行政制度や政策発想に縛られない地域政策の可能性を持っています。特に、歴史上類を見ない成熟国家の人口減少に立ち向かわねばならない我が国にとって、越境は不可欠な政策的視点であり、地域境界、地域システム、地域主体を越境する「越境地域マネジメント」が重要性を増しています。

愛知大学は、戦前上海にあった東亜同文書院大学を前身として、1946(昭和21)年に愛知県豊橋市に設立された、地域性と国際性の協調を理念とする大学です。三遠南信地域連携研究センターは、特に愛知県・静岡県・長野県の県境地域である三遠南信地域を対象として、様々な地域研究やGIS(地理情報システム)研究を設立以来推進してきました。特に、2013(平成25)年度から2018(平成30)年度まで、文部科学省「共同利用・共同研究拠点」制度における「越境地域政策研究拠点」として認定され、越境地域政策の科学的な確立を目指して、国内外の130を超える研究機関との共同研究を推進してきました。

こうした実績を背景に、2018年度から、愛知大学として文部科学省私立大学研究ブランディング事業「『越境地域マネジメント研究』を通じて縮減する社会に持続性を生み出す大学」に選定され、その中核研究機関として「越境地域マネジメント」に関する基礎研究、地域と連携した応用研究、教育プログラムの開発を進めています。

◆これまでのセンターの取り組み

平成17年度 文部科学省 私立大学学術研究高度化推進事業	採択	5年間	「グローバルな視点に立った「地域づくり」 トータルシステムの開発」	研究代表者: 佐藤元彦 経済学部教授
平成22年度 文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	採択	3年間	「三遠南信地域における「地域連携型GIS」 の研究」	研究代表者: 蔣湧 地域政策学部教授
平成25年度 文部科学省 共同利用・共同研究拠点	認定	6年間	「越境地域政策研究拠点」	研究代表者: 戸田敏行 地域政策学部教授
平成25年度 文部科学省 特色ある共同研究拠点の整備の推進事業	採択	3年間	「越境地域政策研究拠点」	研究代表者: 戸田敏行 地域政策学部教授
平成30年度 文部科学省 私立大学研究ブランディング事業	選定	3年間	「『越境地域マネジメント研究』を通じて縮減 する社会に持続性を生み出す大学」	研究代表者: 戸田敏行 地域政策学部教授

三遠南信地域とは

「三遠南信地域」とは、愛知県東三河地域の「三」、静岡県遠州地域の「遠」、長野県南信地域の「南信」からなる県境を越えた広域地域です。



私立大学研究ブランディング事業

文部科学省が展開する「私立大学研究ブランディング事業」は、学長のリーダーシップの下、大学の特色ある研究を基軸として、全学的な独自色を大きく打ち出す取組を行う私立大学の機能強化の促進をめざすものです。

地域の経済・社会、雇用、文化の発展や特定の分野の発展・深化に寄与する取組(タイプA 社会展開型)と、先端的・学際的な研究拠点の整備により、全国的あるいは国際的な経済・社会の発展、科学技術の進展に寄与する取組(タイプB 世界展開型)の2種にて募集されました。

2018年度は157校から申請があり、学識経験者等で構成する「私立大学研究ブランディング事業委員会」において、実施体制及び事業内容・計画を総合的に審査され、計20校(タイプA: 11件、タイプB: 9件)が選定されました。

愛知大学の選定事業

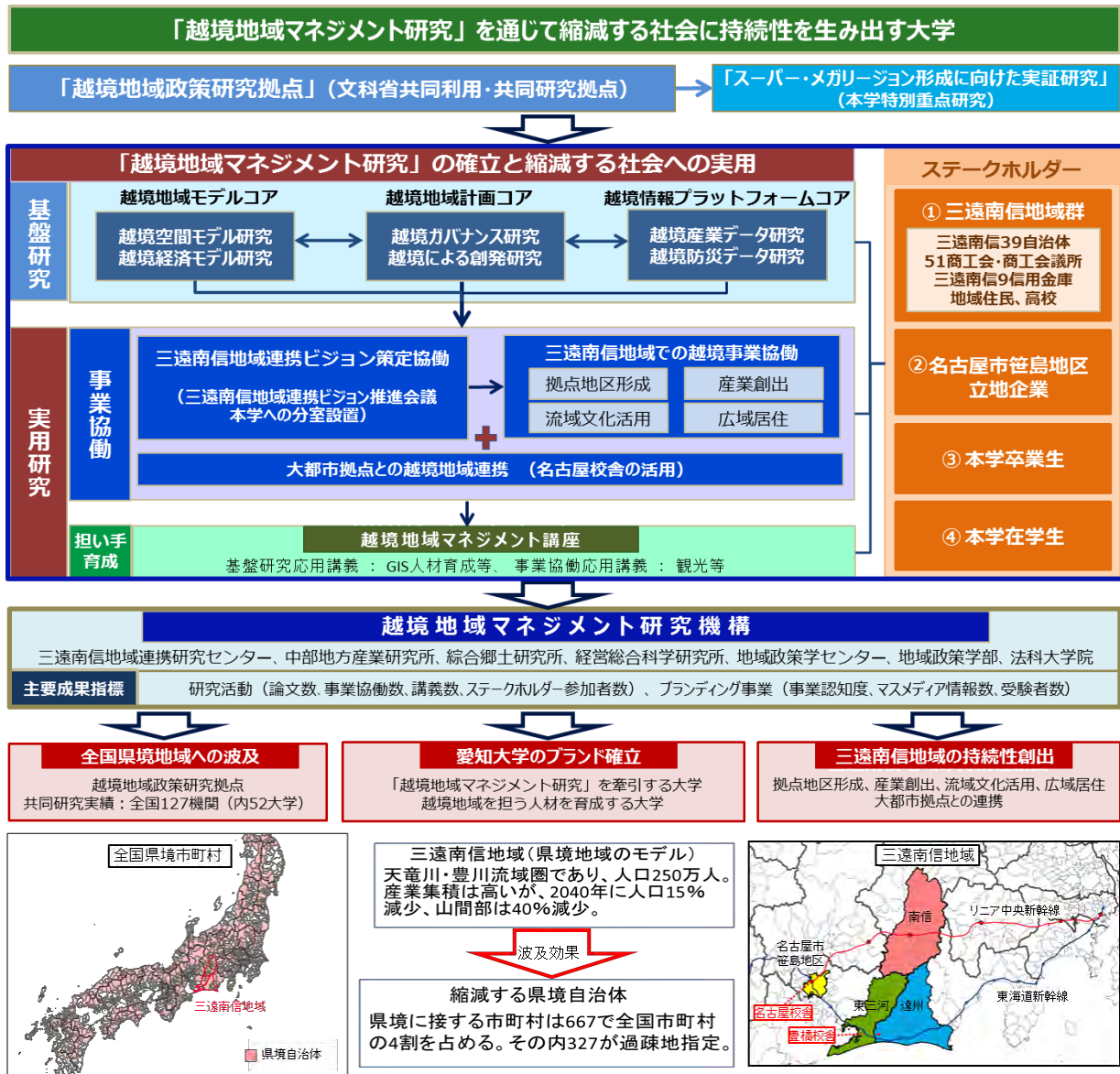
「『越境地域マネジメント研究』を通じて縮減する社会に持続性を生み出す大学」

参画組織＝三遠南信地域連携研究センター、中部地方産業研究所、総合郷土研究所、経営総合科学研究所、地域政策学センター、地域政策学部、大学院法務研究科法務専攻(法科大学院)

※事業タイプ＝「社会展開型」(タイプA) 期間＝3年

事業の概要

我が国の地方部は急速な人口減少により、縮減する社会に直面しています。民力が卓越した大都市部と異なって、地方部では行政境界が地域経営の障害となり、縮減する社会を支える地域連携が取り難いといえます。特に県境地域はその傾向が著しいです。本事業では、愛知・静岡・長野の県境地域を対象とした「越境地域マネジメント研究」を本学に拠点化し、その実用によって縮減する社会に持続性を生み出すとともに、全国県境地域への波及効果を目指します。



研究の意義

本学は、1901年中国上海に創設された東亜同文書院大学の関係者を中心に1946年に中部地域唯一の法文系大学として、愛知県豊橋市に設立されました。設立趣意書には、東亜同文書院を背景とした《国際的教養と視野をもった人材の育成》とともに、6大都市以外の地方都市に初めて立地した旧制大学として《地域社会への貢献》を挙げています。

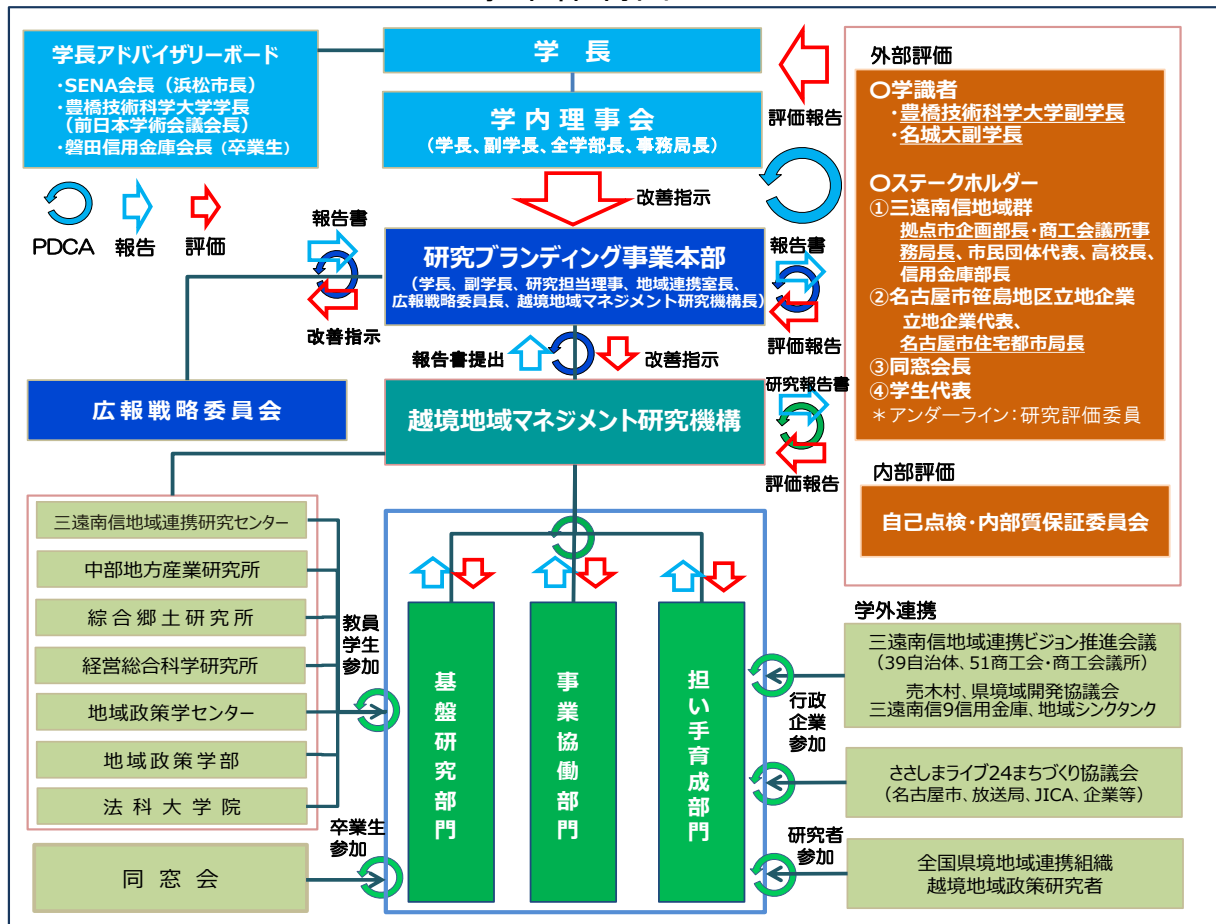
本学発祥の地である豊橋校舎では、《地域社会への貢献》を地域研究に展開する視点から、1951年には「総合郷土研究所」、1953年には「中部地方産業研究所」を設置しました。その後、豊橋校舎が立地する豊橋市の広域連携が進み、豊橋市を中心とする愛知県東三河地域、浜松市を中心とする静岡県遠州地域、飯田市を中心とする長野県南信地域からなる「三遠南信地域」に後背地域が拡大してきました。こうした動向に対応して、本学は地域研究の対象を三遠南信地域に定めた「三遠南信地域連携研究センター」を2004年に設立し、「文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業・社会連携研究推進事業(2005-2009年)」、「文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業・地域に根差した研究(2010-2012年)」を実施してきました。更に2013年からは「文部科学省共同利用・共同研究拠点」の「越境地域政策研究拠点(2013-2018年)」に認定され、「越境地域政策」の確立を目指した全国的な研究を進めました。また、2011年には、三遠南信地域を研究・教育のフィールドとする「地域政策学部」を設立し、地域政策を担う人材の育成に展開してきました。

本学は、2012年に名古屋校舎を名古屋駅に隣接した大都市拠点「名古屋市ささしま地区」に移転開校しました。ささしま地区は、2027年の中央リニア新幹線開通によって三大都市圏が一体化されるスーパー・メガリージョンの一角であり、広域的な拠点性を有しています。こうした拠点性を活かすには、ささしま地区と広域的な後背地域を結ぶ越境地域連携が不可欠です。特に、三遠南信地域とささしま地区の間に多様な越境地域連携を形作ることによって、三遠南信地域が直面する縮減する社会に、大都市拠点と連携したダイナミズムを生み出すことは、三遠南信地域とささしま地区に校舎を持つ本学の新たな《地域社会への貢献》です。

期待される成果

「越境地域政策研究拠点」として取り組んできた既往の「越境地域政策研究」(基盤研究)の更なる強化を図るとともに、「越境地域マネジメント研究」として縮減する社会に実用するためには、分散する地域機能の拠点地区化とネットワーク、モデル的に応用できる越境連携事業、越境連携事業を支え得る人材が必要です。そこで、実用研究として、三遠南信地域の諸機関との越境連携事業協働、越境地域マネジメントの担い手人材育成を行ないます。これらによって縮減する三遠南信地域に持続性を生み出すとともに、全国の県境地域や海外の越境地域への波及効果を期待します。

事業体制図



2019年度 越境地域政策研究フォーラム



2020年1月25日(土)、愛知大学豊橋校舎において、第7回越境地域政策研究フォーラムを開催いたしました。

午前、豊橋技術科学大学学長・前日本学術会議会長 大西 隆氏をお招きし、「グローバル経済社会と中部圏」の題目で基調講演をいただきました。

午後は、「越境地域計画と広域連携」、「越境と地域システム」、「越境地域と事業協働」の3つのテーマによる分科会に分かれ、19のタイトルについて活発な発表と質疑応答が行われました。最後に、統括報告会が開催され、各分科会のコーディネーターより分科会の状況報告があり、交流会では越境地域政策をめぐる各地域・各学問分野における情報交換が行われました。

愛知大学では、文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」の採択を受け、「越境地域マネジメント研究」を本学に拠点化し、その活用によって縮減する社会に持続性を生み出すとともに、全国県境地域への波及効果を目指しています。その一環として、本研究フォーラムを下記の通り開催いたします。越境地域政策に関心を持つ皆様のご参加をお待ちしております。

日時:2020年1月25日(土) 場所:愛知大学豊橋校舎

10:00~11:45 講演 (会場:6号館1F 610教室)

- あいさつ 川井伸一 (愛知大学学長)
 趣旨説明 戸田敏行 (愛知大学三遠南信地域連携研究センター長)
 基調講演 「グローバル経済社会と中部圏」
 大西 隆 (豊橋技術科学大学学長、前日本学術会議会長)

13:15~17:30 分科会

分科会 1

越境地域計画と広域連携

◇会場:本館5F 第3・4会議室
 コーディネーター: 菊池裕幸(愛知大学)
 コメンテーター: 大貝彰(豊橋技術科学大学)、加藤正人(愛知県市長会事務局)

趣旨:縮減社会の本格的到来に伴い、行政境界を跨いだ越境地域における広域連携の必要性が高まりつつある。国内外の具体的な事例や実証的考察を通じて、広域連携を推進していくに際しての課題と展望を考える。

- ・信越県境地域の地域づくりに向けたプラットフォームの再構成: 内海巖(上越市創造行政研究所)
- ・新幹線沿線の「越境×組織化」にみる地域の再編・再構成: 柳引素夫(青森大学)
- ・三遠南信越境ネットワーク形成～経トラ市を事例に～: 戸田敏行(愛知大学)
- ・メカリージョンと政治システム: 後房雄(愛知大学)
- ・スーパー・メカリージョン形成に伴う愛知県内市町村への影響: 入江容子(愛知大学)
- ・東アジア・ツーリズムの変動力学と現在地: 加治宏基(愛知大学)

分科会 2

越境と地域システム

◇会場:研究館1F 第1・2会議室
 コーディネーター: 飯塚隆彦(愛知大学)
 コメンテーター: 岩田貞典(愛知大学)

趣旨:越境地域マネジメントにおける地域システムやGISの有益性について、産業・まちなか・中山間地域・歴史をテーマに研究成果を報告し、議論する。また、構築したデータベースや得られた知見をどのように社会に還元するのか、オープンデータやビッグデータの観点から考えてみたい。

- ・非連続的イノベーション時代における自動車産業の変革: 苜浜(愛知大学)
- ・「まちづくり」に向けた地域調査の実践—豊橋まちなかにおけるゼミ活動を通じて: 駒木伸比古(愛知大学)
- ・中山間地域における無住化集落の分布とその空間的特徴: 渡邊敬逸(愛媛大学)
- ・三遠南信地域の歴史GISデータ整備: 飯塚隆彦(愛知大学)
- ・絵図・古地図による吉田城下と周辺街道の復原: 菊池直哉(豊橋市二川宿本陣資料館)
- ・東三河におけるオープンデータおよびビッグデータの動向: 木村博司(Code for MIKAWA)

分科会 3

越境地域と事業協働

◇会場:研究館1F 第3・4会議室
 コーディネーター: 岩崎正弥・神頭広好(愛知大学)
 コメンテーター: 渡邊嘉哉(NPO法人南信州山部共同社中)、永柳宏(三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

趣旨:本分科会では、都市中心部と中山間地域を対象に、主として大学と地域との協働に基づき諸事業を取り上げて検討を加える。事業協働における大学の役割、教育効果等を念頭に置きつつも、その一方で実際のまちづくり、地域づくりにおける事業協働の在り方を考察する。都市と中山間という異なる空間を同じ分科会で扱うことを通じて、改めて越境の意義を問い直したい。

- ・地域実践教育とまちづくり: 辻隆司(愛知大学)
- ・中山間地域の社会的価値—三遠南信アンケート調査より—: 岩崎正弥(愛知大学)
- ・売木村との大学連携共同事業: 藤嶋久好(愛知大学)
- ・南信州広域連合と学生による「市田柿」のマーケティング実践: 太田幸治(愛知大学)
- ・豊橋まちなかでのエリアマネジメントの試み: 小川直哉(豊橋まちなか会議事務局)
- ・産学官連携による低年次プログラムの展開: 吉川剛(愛知大学)
- ・中川運河とまちづくり: 内山志保(愛知大学)

18:00~20:00 統括報告会・交流会 (会場:逍遙館2F(生協))



第7回 越境地域政策研究フォーラム

(2019年度)

文部科学省
私立大学研究ブランディング事業

愛知大学三遠南信地域連携研究センター

◆お問い合わせ先
 愛知大学
 三遠南信地域連携研究センター
 〒441-8522
 愛知県豊橋市町町町1-1
 TEL:0532-47-4157
 FAX:0532-47-4576
 E-mail:sen_center@aichi-u.ac.jp



事例 産業災害リスクの分析

産業災害リスクの分析

ソーシャルネットワーク (属性的トポロジー構造)

↓

ジオグラフィックネットワーク (属性的トポロジー構造を現実世界へ落とし込む)

① Social Network ② Social Network with Spatial Information

④ Geographic Network with Hazard Information ⑤ Geographic Network

中川運河はどこに ①空間

・荒瀬川を閉じた閉門式運河
 ・両岸は従来の2倍
 ・堤止水域 91m x 273m →約2.5ha

■降元

地点	距離	北岸堤		南岸堤
		長さ	高さ	
堤元	6.40m	0.70m	1.30m	
第一堤	2.30m			
第二堤	25.70m	2.64m	2.64m	
第三堤	92m			
第四堤	55ha			
第五堤	25.4m		2.1m	
第六堤	42ha			

【堤端】

地点	距離	堤高	堤幅		堤高
			堤元	堤先	
第一堤	0.20m	0.20m	1.30m	0.50m	
第二堤	45m	49m	45m	45m	
第三堤	2ha				
第四堤	42ha				

2019年度 シンポジウム・研究会

日本計画行政学会中部支部大会 公開シンポジウム

「ささしまライブ地区エリア開発の展望～リニア中央新幹線 開業と名古屋駅周辺開発マネジメント～」

<日時>2019年8月3日(土) 15:10～17:10

<会場>愛知大学 名古屋校舎 講義棟6階 L606教室
<プログラム>

- ◆開会挨拶: 福島 茂 氏(名城大学 都市情報学部教授)
- ◆基調講演: 「ささしまライブ地区エリア開発の経緯と将来」
光安達也 氏(名古屋市住宅都市局長)
- ◆パネルディスカッション:
 - ・光安達也 氏(名古屋市住宅都市局長)
 - ・元木敬文 氏(ささしまライブ24まちづくり協議会
中京テレビ放送(株)総務局総務部長)
 - ・永柳 宏 氏(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
政策研究事業本部 地区本部副本部長(名古屋本部))
 - ・秀島栄三 氏(名古屋工業大学 大学院工学研究科教授)
- ◎コーディネーター
戸田敏行 氏(愛知大学三遠南信地域連携研究センター長)

主催: 一般社団法人日本計画行政学会 中部支部

共催: 愛知大学(文部科学省 私立大学研究ブランディング事業)



防災シンポジウム「地域と防災」

<日時>2019年10月19日(土) 15:00～18:00

<会場>愛知大学 名古屋校舎 グローバルコンベンションホール
<プログラム>

- ◆基調講演: 「我が国の防災政策」 石垣和子 氏
内閣府政策統括官(防災担当)付企画官
(普及啓発・連携担当)
- ◆パネルディスカッション「地域と防災～中部圏を事例に～」
 - ◎パネリスト
 - ・蔣 湧 氏(愛知大学地域政策学部教授)
「自動車産業と防災」
 - ・西堀喜久夫 氏(愛知大学名誉教授)
「大学防災と地域連携」
 - ・坂野正典 氏(名古屋市防災危機管理局次長)
「防災・減災に向けた名古屋市の取り組み」
 - ・豊田正博 氏(愛知県建設局技監)
「港湾の防災」
 - ◎コメンテーター
 - ・叶 謙 氏(北京師範大学教授)
 - ・岳 隼 氏(深圳市都市計画研究院副総計画師)
 - ◎コーディネーター
戸田敏行 氏(愛知大学三遠南信地域連携研究センター長)



2019年度 シンポジウム・研究会

自治体職員向けのQGIS講習会「オープンソースを活用したマップ作成 —地域防災と土地利用を中心に—」

<開催日>2020年2月15日(土)、22日(土)
<会場>愛知大学 豊橋校舎 5号館2階 523教室

◆第1回講義:GIS基礎・オープンソース・事例

2月15日(土)10:00~11:30

蔣 湧 氏(愛知大学地域政策学部教授)

◆第2回講義:基盤地図情報の可視化

2月15日(土)13:00~14:30

駒木伸比古 氏(愛知大学地域政策学部教授)

◆第3回講義:地域社会情報の可視化

2月22日(土)10:00~11:30

飯塚隆藤 氏(愛知大学地域政策学部准教授)

◆第4回講義:防災ハザードマップの作成

2月22日(土)13:00~14:30

蔣 湧 氏(愛知大学地域政策学部教授)

※4回連続講義



「軽トラ市の未来を考える」公開シンポジウム

<日時>2020年2月15日(土)13:30~17:00

<会場>愛知大学 豊橋校舎 本館5階 第3・4会議室

<プログラム>

◆基調講演:「軽トラ市の特性と将来展開」 戸田敏行 氏
(愛知大学三遠南信地域連携研究センター長)

◆シンポジウム

「軽自動車の未来と地域連携からみた軽トラ市」

◎パネリスト

・伊藤二三男 氏

(スズキ(株)四輪商品第三部チーフエンジニア課長)

・原川知己 氏

(三遠南信地域連携ビジョン推進会議事務局長)

・峯岸敏雄 氏

(一般社団法人全国軽自動車協会連合会管理部企画課長・広報課長)

・森 一洋 氏

(しんしろ軽トラ市のんほいロット運営リーダー)

◎コーディネーター

戸田敏行 氏(愛知大学三遠南信地域連携研究センター長)



刊行物

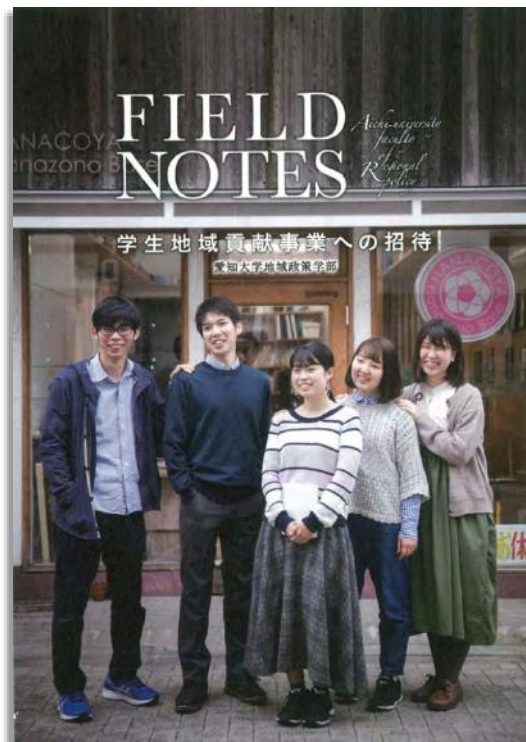
■刊行物

『越境地域政策研究論集』を刊行しました。



『学生地域貢献事業への招待』

愛知大学地域政策学部 —FIELD NOTES— を刊行しました。



アクセス

■愛知大学豊橋キャンパスまでのアクセス



■愛知大学豊橋キャンパスマップ



■お問い合わせ先

〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町 1-1
 TEL 0532-47-4157 FAX 0532-47-4576
 URL <http://edu.aichi-u.ac.jp/san-en/>